

別添 4

みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうちスマート農業の総合推進対策のうち  
スマートグリーンハウス先駆的開拓推進事業の事業評価票

評価担当課 園芸作物課

事業実施主体	事業内容	事業費(円)		A：計画以上の成果が見られる
ジャパンプレミアムベジタブル株式会社	インドネシアにおける高温多湿地域向け植物工場システムを活用した施設園芸の事業化可能性を検討するため、トマト・イチゴの市場性評価、試験栽培、人材育成、種苗登録制度等の制度調査を実施し、事業化に必要な基礎情報を収集。 また、周辺国での市場調査や種苗登録制度等の調査を行い、海外展開に必要な制度、市場環境を整理。	38,700,000円 (うち国費38,700,000円)	総合評価	B：計画通りの成果が見られる
				C：計画通りの成果がみられない
			総合所見	市場性評価、試験栽培、人材育成、種苗登録制度調査など、当初計画に沿った多面的な取組が着実に実施された。特に、日本品種トマト・イチゴの市場性が高いことが明確となり、海外展開に向けた基礎情報が整理された点は評価できる。
評価観点ごとの所見				
<b>a成果目標が達成されているか</b>				
インドネシア及び周辺国における日本品種トマト・イチゴの市場規模予測を定量的に取りまとめ、種苗登録制度等の調査の実施している。また、技術研修会を通じた現地生産者の人材育成（2回、延べ73名）等も実施されており、計画した成果目標は概ね達成されたと評価できる。				
<b>b計画に即した取組が行われたか</b>				
計画通りの取組が行われている。				
<b>c予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>WEB調査、現地調査、試験栽培、研修会の開催など、事業計画に沿った内容が実施されており、予算の執行は適切に行われたと考えられる。</li> <li>市場性評価、試験栽培、人材育成、種苗登録制度等の制度調査など成果物として取りまとめられ、海外展開に向けた必要情報が網羅的に整備されていることから、予算に見合った成果が得られたと評価できる。</li> </ul>				

<記載要領>

- 1 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、A、B又はCのいずれかに○を付ける。
- 3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 4 事業内容欄は、事業実施状況報告書に準ずる。
- 5 事業費は決算額を記入する。